

教育コミュニティづくり通信

令和元年 9月 26日

令和元年 9月 26日、大阪府立富田林支援学校を訪問しました。富田林支援学校では、地域の方が中心となり、特色ある取組みが多数行われています。今回は、図書室ボランティアの取組みを中心に富田林支援学校における地域と学校の協働について紹介します。

図書室ボランティアの取組み

富田林支援学校では、平成 20 年度、学校支援地域本部事業とともに、図書室ボランティアの取組みが始まりました。当初は毎週木曜日の昼休みに地域の方が集まり、図書室開放をするということでしたが、その後読み聞かせをするようになりました。現在では、大型絵本も使い、読み聞かせをしています。また、手遊びを取り入れたり、BGMとしてヘルマンハーブの演奏をするなど、様々な工夫をして子どもたちが心休まる居場所を作りあげています。その様子を見ていた先生方も、図書室開放の良さを知り、図書室開放の呼びかけを行うようになりました。また、高等部では図書委員会を立ち上げ、高等部の生徒が貸し出し作業を行うようになりました。さらに、先生方と図書委員会の協力で、火曜日にボランティアの方がいなくても図書室開放を行うまでに広がっています。



この日は、『やきいもグーチャーパー』や『風船の中は何だろう』という手遊びをした後、『犬のおぼけ』と『お～しまい!』という本の読み聞かせを行いました。また、ヘルマンハーブの演奏もありました。



ボランティアの方を集める工夫

- 「絶対に行かなあかん」では負担になることから、「来られなくても大丈夫」という共通理解で行われているため、気軽に参加できる環境が作られています。
- 学校がボランティアの方の拠点として、和室の図書室を用意し、イスと机とパソコンをおいているため、ボランティアにとっても活動しやすい場所となっています。
- 現在のコーディネーターの方は今年度で辞められるそうですが、次のコーディネーターの方を決めており、その引継ぎを行っています。また、来年度からは現在のコーディネーターの方がサポート役として、新しいコーディネーターの方を支えるため、スムーズな引継ぎができる体制を作っています。

地域と学校の様々な協働活動

- ミニ運動会…安全で安心な休日活動として、卒業生の保護者有志による実行委員会により、在校生とその保護者はもちろん、卒業生とその保護者も含めた約 250 人が参加した運動会を行っています。
- 他にも、スプリングコンサート、夏休み親子プール、学校花壇の整備、授業補助としてのマラソン練習時の安全指導など、たくさんの活動を行っています。